

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ギフト法性寺		
○保護者評価実施期間	2026年 6月 5日 ~ 2026年 6月 19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2026年 6月 5日 ~ 2026年 6月 19日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 6月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	2フロアでの別行動が基本となっている為、こども達の下校時間が異なる場合や、レベル差が大きい場合にそれぞれのペースに合わせた活動や日程を提供することが出来る点。	基本的には学年に応じたフロア分けですが、得意分野苦手分野においては学年分けに固執せずフロア分けを行っている。本人がよりのびのびと能力を発揮できるようフロア分けに柔軟性を持たせることを意識している	外出レクなどにおいてはこの別行動が実施しきれていない面がありますので、今後施設外の活動においてもより特化した内容を提供していけるような体制作りに努めていきたい
2	学習支援にも一定の力を入れており、進路相談も兼ねて実施した上で、希望する進路に近付いていけるように、学校授業への遅れなどに対して積極的なフォロー対応に動いている。	基本的に復習対応に絞ることで、学校との指導法の違いによる混乱を防いだり、少し学年学期相応よりさかのぼった範囲を用意することで、達成感を担保しつつも、取り残しがないかを常に確認している。	利用教材の管理や選定などが職員各々に任されている部分がある。共有管理体制においては効率化の余地がある点と、必要に応じて自作を試みることでより特化した教材の提供を実現できるように努力する。
3	集団療育を基本として全体の流れを重視しつつも、一人一人の居場所として機能させることにも注力しており、適切な意思表示への誘導と訓練を実施しつつ、それに応じる形でセーフゾーンの提供などを実現している。	意思表示の促しと練習をセットで行うことを意識して適切な意思表示をすることで、一定の安定を得られる経験を積んでもらい、より自発的にクールダウンをして集団での過ごし方を身に着ける手助けをしている。	クールダウンエリアが現状では仮設的であったり、小部屋で座るといった程度なので、クールダウンエリアの設備をもう少し拡充することで、より確実に安心を得られる環境の提供を整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会や兄弟会の開催など保護者や利用者の兄弟を含めた公助グループを作っていく為の試みに欠けている点がある。	アクセス面の課題等から、現実的な開催案の考察まで至れていないのが現状であり、その点は課題として認識はしている。	実施規模にこだわらず、もっと小規模での開催から検討しまずは実施可能な範囲を広げていく施策へ方向転換が必要であると考えている。
2	家族を対象とした研修や勉強会の実施が不十分であるとの指摘が比較的多くなっている。	定期的な面談会の実施や、随時相談と助言には応じているが積極的な相談の呼びかけ等には行っていない点	こちらから相談の有無や、専門知識の提供を呼び掛ける形を増やし、潜在的な相談希望をこちらから引き出す努力をしていく
3	事業所支援への満足度では「いいえ」が0なのに対してお子様本人が楽しみにしているかでは「いいえ」が明確に複数件寄せられている。	利用者様一人一人の特性を踏まえて敢えて苦手に挑む機会を設定しているケースも多い為、そこでの達成感の提供が負荷を十分に上回れていないと考える。	課題自体の難易度を調整する、または課題の難易度はキープしつつも余暇用の設備を充実させたり、お楽しみを主目的としたカリキュラム提供の頻度を充実させる。